12月1日
各地域の先進事例を学び交流を深める
市政

第２回奥州地域会議を開催し、30地区の振興会長など役員77人が参加、５地区からの先進的な実践発表について学び、交流を深めました。生母地区振興会会長の千田敏彦さん（71）は独自の防災活動の構築について発表し「今後はさらに地域の共助力を高めていきたい」と語っていました。

12月1・2日
おいしくむけた江刺りんご
イベント

ＪＡ江刺などが主催する第９回江刺りんごまつりがえさし藤原の郷で開催され、訳ありりんご販売会などが行われました。江刺りんご皮むき大会に参加し、長さ145㎝の記録で優勝した江刺の菊池ゆかりさん（55）は「緊張で手が震えたけど切れないように頑張った」と笑顔を見せました。

12月7日
郷土の俳人をしのび俳句大会
イベント

前沢出身の俳人・遠藤梧逸（ごいつ）をしのび、梧逸忌（き）全国俳句大会が前沢ふれあいセンターで開かれ、多くの俳句愛好者が参加しました。全国から事前に3,663句、当日160句の応募があり、梧逸賞には一関市の千田真由美さん（56）の「噛（か）んで飲むミルクの甘き梧逸の忌」が選ばれました。

12月13日
水泳を通じて学ぶもの
イベント

田原小学校３－６年生26人が、えさしクリーンパークで五輪競泳銅メダリストの星奈津美さんから基本的な泳ぎ方などを学びました。アドバイスを受け、体で覚えていく子どもたち。それぞれが新しい目標を見つけ、夢に向かって努力することの大切さを学ぶ貴重な体験となりました。

12月17日
華麗なフラッグ演技で消防団活動をＰＲ
発足

市消防団では、消防団や火災予防のＰＲ活動を行うカラーガード隊「Ｏｓｈｕシャイン・チェリー」を結成しました。女性消防団員11人で構成され、消防団内に設置されるのは県内初。消防出初式や消防演習などで演技を披露し、女性や若者の消防団員確保と、消防団の認知度向上を目指します。

12月20日
菅原フミさん100歳（水沢黒石町）
百寿

水沢黒石町に生まれ、22歳で故･文一さんと結婚。１男２女をもうけ、孫８人、ひ孫13人に恵まれています。くよくよしないこと、よく寝ることが長寿の秘訣（ひけつ）。93歳まで焼肉や丼でご飯を食べていました。フミさんは家族の祝福に「みんな楽しくやってけらえ」と照れながら応えました。

12月12日
食の匠から学ぶおせち料理
イベント

食の匠の技術を地域の皆さんに伝えようと胆江地方食の匠研究会が主催する「食の匠が伝えるおせち」が、水沢地区センターで行われました。献立は、だて巻きやニシンの昆布巻きなど10品。参加者は、食の匠からポイントを教わりながら、手際よく調理していきました。

12月16・23日
レッスンの成果を堂々披露
イベント

ＩＳＡＷＡダンスアカデミー

いさわジュニアミュージカルスクール

ＮＰＯ法人胆沢文化会館自主事業協会主催のＩＳＡＷＡダンスアカデミーの発表会が16日、いさわジュニアミュージカルスクールの第18回公演が23日、胆沢文化創造センターで開かれました。

ダンスアカデミーは、ジュニア、マスター、チャレンジの３コース。一関市の舞踊家小笠原華さんの指導の下で５月から稽古を重ねてきました。受講生は晴れの舞台で躍動し、会場を沸かせました。

ミュージカルスクールのメンバーは「旅ねこガスの物語」と「虹色の少年たち」を熱演し観客を魅了。若柳小学校４年の伊藤椿姫（つばき）さん（10）は「踊りが難しかったが、自分の演技がきっちりできた」と笑みを見せました。

12月20日
佐々木カネヨさん100歳（水沢花園町）
百寿

衣川増沢に生まれ、18歳で故･傳蔵さんと結婚。旅行や読書が好きで、北海道や草津温泉に行ったり、健康関連本を読んだりしています。家族の祝福に「100歳を迎えられてうれしい」と笑顔で語り、長女の安紀子さん（76）は「これからも元気で最高長寿記録を作って」と激励しました。

12月25日
小野寺トシさん100歳（衣川古戸）
百寿

一関市舞川に生まれ、17歳で故・孝治（こうじ）さんと結婚。２女をもうけ、孫４人、ひ孫８人に恵まれています。感謝の気持ちを大切にし、自分のことは自分ですることが長生きの秘訣（ひけつ）といいます。家族思いのトシさんは「母は50歳になる前に亡くなり、自分は母の分まで生きたと思う」と心境を語りました。

12月26日
児童が市の将来を市長と一緒に考える
イベント

12年ぶりの開催となる「おうしゅう子ども議会」が、市議会議場で開かれました。これからの未来を担う市内の全27小学校から代表児童が議員として参加。小沢昌記市長に対し、身近な問題やまちづくりについて、子どもたちの目線からの質問や提言を行いました。